



読んでみよう

3日間 12人の 個人質問

個人質問とは…

議員が、広く市政全般のことについて、市に対して説明を求めたり、提案したりすることをいいます。



自由民主党 畑中一成 計画道路の進捗と栄養教諭について



Q 国道25号大阪柏原バイパスについて、起終点などの計画に進展はあったか。

A 国道25号大阪柏原バイパスの起終点は、都市計画道路敷津長吉線、都市計画道路大阪柏原線(八尾市)を經由し、柏原市域を通過して国道165号方面に接続するルートで合意に至った。

Q 栄養教諭は、学校における食育の推進に重要な役割を担うが、本市の栄養教諭の配置状況はどうか。また、栄養教諭による授業の実績と効果はどうか。

A 令和4年度は、栄養教諭は13人を配置している。SDGsの一環として食品ロスを減らし、野菜を育て調理する取り組みや、健康的な食事の必要性等、担任と連携して指導している。効果については、教員の指導方法の充実や児童の食育に対する意欲向上につながっている。

日本共産党 谷沢千賀子 全てのごみ収集業務市直営で行うべき



Q 一般ごみ収集業務の民間委託業者がもし事故を起こした場合、議会への報告はあるのか。

A 委託業者がその責任において第三者に損害を賠償する場合は、地方自治法第96条の規定に基づく議決事件に該当しないと考えている。

Q ごみ収集業務において、災害時の対応や排出指導など、市職員の役割は大きい。民間委託でなく、全ての業務を市直営で行うべきかどうか。

A 平常時、災害時を問わず、公民協働の視点で、民間事業者と協力して取り組むことが市民生活の維持につながると考えている。

Q 旧統一教会や関連団体の行事を市が後援等行ったことはないか。また、市はカルト集団や反社会的団体と関係を持たないと表明すべきだがどうか。

A 全部局で後援等を行った事実がないことを確認している。行事の後援等を行う場合は、団体の活動等を慎重に調査しながら判断する。

公明党 五百井真一 介護人材確保の施策 処遇改善を求める



Q 高齢者保健福祉計画及び介護保険事業者計画に基づく介護の人材確保施策と処遇改善についてどう考えているのか。

A 関係機関と連携し就職フェアの開催や高等学校との意見交換等を行い介護の人材確保の支援に努めてきた。また、介護保険事業者連絡協議会等と意見交換等を行う中で、処遇改善につなげていただけたよう取り組んでいる。

Q 訪問介護職員も定期的にPCR検査を受けられる体制が必要と考えるがどうか。

A 地域における感染動向や他市の実施状況等を踏まえて前向きに検討していきたい。

日本共産党 杉本春夫 国の制度を待たず 加齢性難聴支援を



Q 加齢性難聴は生活の質を落とし、鬱や認知症の危険因子になると言われており、補聴器購入助成制度が必要と考える。必要な財源は1700万円程度と過去に答弁しているが、財源措置し制度を実施すべきではないか。

A 制度の必要性は認識しているが、市独自の実施は財源等を総合的に判断して厳しい。国において全国一律の制度として実施すべきと考えている。

Q 土地利用規制法施行に当たり住民への説明がない。注視区域となった住民の個人情報提供に市は応じるのか。

A 国が市と住民への説明を行うものと考えている。現時点で本市が保有する情報の提供依頼はない。

Q 带状疱疹ワクチン接種への補助制度を進めている自治体がある。本市でも進めるべきだがどうか。

A 国においてワクチンの定期接種化が検討されており、動向を注視していく。

自由民主党 松田憲幸 大規模災害に備え 防災対策を進めよ



Q 令和4年3月に本市の地域防災計画が改訂されたが、大規模災害発生時に計画通り市が機能的な役割を果たすために、総合的な防災訓練が必要であると考えているがどうか。

A 令和4年度に災害対策本部設置運営等の訓練実施を検討している。様々な団体等と防災協定を結んでいるが、災害時に機能するように実動訓練をともに行う必要があると考えるがどうか。

Q 対象の事業者や地域団体などの都合やコロナの状況を勘案しながら、実動型の訓練の実施に向けて検討していきたい。



令和2・3年度はコロナ禍により総合防災訓練を実施できていない。

その他の質問項目

- 本市の財政について
- 北朝鮮による日本人拉致問題及び平和意識の向上について

八尾の未来を紡ぐ会 西川あり 特別支援学級の適切な運用について



Q 文科省からの通知により、障がいのある児童・生徒と、保護者は次年度に向けて、特別支援学級または通常学級に在籍し通級指導を受けるなどの選択をすることとなるが、本市はどのように考えるか。

A 児童・生徒や保護者と学校が、しっかりと相談した上で、子どものニーズに合わせて、十分な合意形成を図っていくことが必要であると考えている。

Q 身近な地域課題やニーズに対応しながら多様な就労の機会を創出する労働者協同組合について、本市での対応はどうか。

A 可能性は未知数であるが、労働者協同組合という制度を知っていただくことが重要であり、具体的な支援については、国・府の動向を注視していく。

※通級指導とは
通常の学級に在籍している障がいのある子どもが、一部の授業について障がいに応じた特別の指導を受けること。

個人質問

▶ QRコードから、各議員の質問の映像を見ることができます。



介護人材の確保が課題となっている。

その他の質問項目

- 児童相談所設置について
- 児童虐待の未然防止について
- 期日前投票所について

八尾の未来を紡ぐ会
おほし
大星なるみ

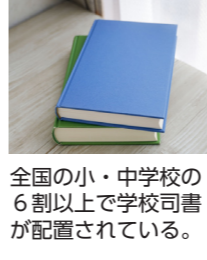



市民サービス低下を招かぬ職員体制を

Q 新やお改革プランに掲げる適正な定員算定の取り組みについて、何をもちて適正とするのか。
A 府内中核市と比較し、本市職員数の将来的な目指すべき方向性や具体的な数値目標を定めたものである。単に職員数を減らすものではなく、職員数の管理目標として適正と認識している。

Q 職員数の減による市民サービスの低下が懸念される。事務事業の見直し等は進んでいるのか。
A 業務に係る職員の負担を軽減し、新たなマンパワーを創出するため着実に取り組みを進めている。

Q 学校司書の配置が全国的に進んでいる。本市での司書配置の見解はどうか。
A 司書の必要性は認識しており、適切な配置手法を検討していく。



日本共産党
おほのよしのぶ
大野 義信




命を守るコロナ対策の抜本的な強化を

Q 発熱外来の体制や無料PCR検査の抜本強化など、新型コロナウイルス感染症第7波から国民の命を守るための緊急要請を日本共産党が行ったが、市長の見解はどうか。
A 国において様々な対策が検討されており、今後も国や府の動向を踏まえ適切に対応していく。

Q インボイス制度の導入は、小規模事業者の営業と暮らしに打撃を与える、事業者数の減少に拍車をかけることが考えられる。インボイス制度の撤廃及び消費税の減税と不公平税制の是正を国に求めるべきだがどうか。
A インボイス制度は税務署から依頼を受け、事業者へ制度の周知を行っている。税制の是正については、国会で適切に議論されるべきであると考えている。

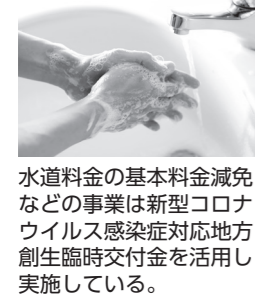
日本共産党
おちたえこ
越智 妙子




給食費の無償化を引き続き実施を

Q 学校給食費の無償化、ワンコインバス、水道料金の基本料金減免など期限付きで実施しているが、どれも市民生活を支える重要な施策であり、引き続き実施が必要と考えるがどうか。
A 新型コロナウイルス感染症や原油価格、物価高騰に対応するための対策は、国の交付金を活用している事業であるため原則年度内で終了する。令和5年度以降の実施については、財政状況など総合的に考え、必要となる支援策について検討していく。

Q 中学校の全員喫食も進めていく中で、給食費の無償化が必要と考えるが財政調整基金の状況は。
A 令和3年度の決算状況では約74億円の残高となっている。



公明党
にしだ
西田 尚美




通級による指導適切な運用を

Q 児童・生徒が特別支援学級に在籍する基準が国から示され、特別支援教育の体制が変わる。来年度以降の通級指導教室の利用や、特別支援教育支援員の増員について、どう手立てするのか。
A 通級指導教室は、自校通級を基本としつつ、他校通級や巡回指導の活用を含めて検討していく。支援員は、学びの場の変更等に伴う配置数の検討を進めている。

Q 全学校に通級指導教室を設置する場合、必要な環境整備と人員配置について、どう考えているか。
A 児童・生徒の実態に応じた学習環境の整備が必要と考えている。人員については、国の基準ののりより担当教員が配置される。

Q 就学前施設のおむつ持ち帰り廃止が広がっているが、市の考えは。
A 民間施設での動向を把握しつつ検討していく。

- その他の質問項目
- 職員数管理目標について
 - 産後ドゥーラ導入について

日本共産党
たなか
田中 裕子




水道企業団への統合 命の水は守れるのか

Q 水道事業ではこれまでモニターやアンケート等で市民意見を受け取っているが、市民と一緒に水道事業を作るという考えからか。
A 水道事業が市民の身近にあり続けるという趣旨で行っている。

Q 市は大阪広域水道企業団に水道事業を統合するとしている。水道に関する議案は現在、本市の議会に議決を行っているが、統合後は企業団での審議となる。市議会が直接関わることができなくなり、市民の声が届きにくくなるかと考える。市はどう認識しているのか。
A 継続的に水道事業を行うことが市の使命と考えている。様々な声があることを認識し、安心安全の水を市民に届けていきたい。

※大阪広域水道企業団とは
府内の水道用水供給事業、水道事業及び工業用水道事業を行う。府の構想による府域一水道に向け、協議の整った市町村水道事業との経営の一体化と事業統合を進めている。

- その他の質問項目
- インクルーシブ教育について

無所属
つゆはら
露原 行隆




コロナ収束に向けた 学校生活の検討を

Q 長引くコロナ禍で学校でのマスクの着用や黙食などがいつまで続くのか疑問の声もある。コロナ禍の収束に向けて子どもたちといかに寄り添うのか、学校生活のあり方について検討すべきと考える。例えば、登下校時には不要とされているマスクの着用についてどのように指導しているのか。
A 登下校時のマスクは不要としており各学校で指導している。暑さ対策等の観点からも必要な場面、不要な場面について指導をしていく必要があると考えている。

Q 国は学校の部活動を地域や民間に委託する方針を示している。市はどう捉えているのか。
A 本市の子どもが文化やスポーツに継続して親しめる機会を確保するとともに、学校の働き方改革が推進され教育の質が向上すると考えている。

市議会の
い・ろ・は




Question

子育てや学校のこと、高齢者施策、新型コロナ対策、災害など…内容は様々だけど、

議会での質問内容は
どんなふうに出ているの？



議員は日頃から、市民の皆さまから直接意見を伺ったり、八尾市や他市の施策を調査しています。それを通して、課題と感じたことや気づいたことを質問にまとめています。

市民からの意見 市の施策の勉強 他自治体施策の調査


いろんな内容の質問があるね。でも、質問する内容って、議員はどうやって決めているのかな。

どれも大切だよ～


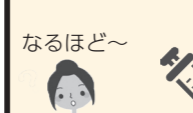
どの質問も市民の皆さまの暮らしに関わることばかり。今後もわたしたちの質問にご注目ください!!

議員一同



さらに、新型コロナウイルス対応など、タイムリーに市民生活に関わることを質問に取り上げることもあります。

なるほど～

そうなんだ！じっくり調査や準備をして質問を考えているんだね。

